

# 第2次富山市スポーツプラン(案)にかかるパブリックコメントの実施結果について

## 1. 実施概要

(1) 募集期間 令和3年1月5日(火)～令和3年1月22日(金)

(2) 募集方法 郵便、Eメール、FAX

(3) 閲覧場所

- ・富山市ホームページ
- ・富山市役所 スポーツ健康課、市政情報コーナー
- ・富山市総合体育館、富山市東富山体育館、富山市2000年体育館、富山市勤労身体障害者体育センター、富山市花木体育センター、富山市民球場、富山市東富山温水プール、富山市屋内ゲートボール場、富山市屋内競技場、富山市大沢野青少年体育センター、富山市大山総合体育センター、富山市八尾スポーツアリーナ、富山市八尾B&G海洋センタープール、富山市婦中体育館、富山市ストリートスポーツパーク、富山市山田総合体育センター、富山市南総合公園体育文化センター

(4) 集計結果 意見提出者数 4名、意見受付件数 7件

## 2. ご意見と市の考え方

お寄せいただきましたご意見と市の考え方は、別紙のとおりです。  
※ご意見につきましては、適宜要約して記載しております。

## 第2次富山市スポーツプラン(案)のパブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

別紙

No	ご意見	左記ご意見に対する市の考え方
1	<p>富山市民の興味、実施したいスポーツ分野の性別、年代別に把握するために毎年受診の健康診断受診時に、個人に500円チケット配布。</p> <p>利用範囲は、市営、県営全てのスポーツ施設、民間のスポーツ施設(ゴルフ場、ボウリングなど多方面で利用可能)</p> <p>チケットは市に戻るようにして、戻って来たチケットで、年齢、性別がわかり、市民がかかわりやすいスポーツとしての需要具合の確認が出来る。</p> <p>又、地域性も確認出来るので、需要の多いスポーツに関して、設備の補助や定期大会などの開催など各自自治体毎に、割り振られた予算毎の実績も報告させる。</p> <p>年齢や、時代の流れでスポーツも変わって来ると思うので、毎年配布の方が、予算も無駄にならないと思います。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>現行スポーツプランでは「成人の週1回以上のスポーツ実施率を50%以上」を目標に、様々なスポーツ施策に取り組むとともに、市民のスポーツに対するニーズを把握するためのアンケート調査を行ってまいりました。調査の内容として、ご指摘の「今後実施したい運動やスポーツ」等についても聞いており、性別や年代別の把握に努めております。</p> <p>また、より多くの市民の皆様がスポーツに興味関心を持ち、新たにスポーツを実施してもらえるよう、例年、国民の祝日「スポーツの日」(令和元年度まで「体育の日」)に合わせて、「いきいきスポーツの日」と称して市営スポーツ施設を無料開放し、イベントを実施するほか、市営スポーツ施設使用券を配布しており、今年度は、「いきいきスポーツの日」の施設利用者を対象にアンケートを実施し、利用者の属性(性別・年齢)、イベントを知ったきっかけ、来館目的、施設利用頻度等の実態把握を行ったところであります。</p> <p>今後も、いただいたご意見を参考に市民のスポーツに対するニーズの把握に努めてまいりたいと考えております。</p>
2	<p>高齢者の健康維持管理は個々人のメリットはもとより、地域医療や介護負担軽減にも資する大切な施策と思慮。</p> <p>このため、ウォークの積極的な取り込みや天候や季節に左右されない施設整備を盛り込まれたことは評価します。その上で、以下の点について意見を述べます。</p> <p>・ウォークについて</p> <p>平成23年度比較で今日、半減した要因分析は何か、これを掘り下げての対応であるべきで、プラン(案)では、ウォークの機会の増大(イベント時のウォークの取り入れ)やコースの整備と、プランありきのように感じられます。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>ご指摘のとおり、近年、高齢者の健康維持や地域医療・介護の負担軽減につながるなど、運動やスポーツの果たす役割は高まっていると考えており、健康スポーツの総称を生涯スポーツとし、その推進を図ることとしております。</p> <p>そうした中、ウォークは誰もが気軽に取組み参加できるスポーツとして、本市でも「歩くスポーツ」として、推進を図ってきたところでありますが、ご指摘にありますように近年、イベント等への参加者が減少していることから、これまでもより多くの方に参加いただけるようイベントの内容など企画を工夫することや、広報紙やチラシに掲載し、PRを図っているところであります。</p> <p>また、アンケートでは、「ウォーク」に対する意識が高く、最も愛好されているスポーツである結果もあり、本市としては引き続きウォークの推進に取り組むこととしておりますが、ウォークイベント参加者数の動向については、イベント内容の変化や天候等の影響も大きいことから、今後変動の要因を分析するとともに、参加者アンケートの内容を充実させるなど、ニーズの把握に努め、参加者増に繋げてまいりたいと考えております。</p>
3	<p>基本方針として生涯スポーツの推進を掲げ、拠点づくりでは天候や季節(特に冬期)に左右されない施設整備と明記されておられるものの、その具体策が繋がっていないように見受けられます。</p> <p>積雪地帯である富山市は、およそ4か月の冬期に、屋外スポーツ(テニス、サッカー、パークゴルフ等の屋外運動など)を学ぶ、楽しめる施設が極めて貧弱と感じております。この時期の施設の充足度、他の積雪地域での整備レベル比較、また、市民の意見はどうなのか、これらを元にしたプラン(案)になっているのか見えません。</p> <p>プラン(案)では、体育館やその他施設全体の年間を通した利用率を掲げておられますが、屋外スポーツ・運動の冬期間の対応こそ重要で、そこは、体育館ではないと思いますし、年間全体ではないと思慮。</p> <p>上述の指標や分析を基に施設、拠点整備をどう解決するのか掲げて欲しいものです。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>冬季におけるスポーツ振興において、中には冬期間休止している施設もあり、ご指摘のように、屋外スポーツの実施できる場所の確保が困難なことが挙げられます。</p> <p>これまで、屋内外におけるスポーツ施設を整備してきておりますが、市民ニーズの把握とともに、動向を勘案しながら、施設の利用方法等も含め、具体的な施策を検討してまいりたいと考えております。</p>
4	<p>年間を通じた、特に冬場、雨天時の世代を超えたスポーツを楽しむ施設拠点が不足していることから、市内北部地区既存施設で、学生、市民、高齢者等が年間利用可能な施設整備を行うことや、少子高齢化社会環境下でのスポーツ施設年間利用者数増大を図ることが大切ではないか。</p>	

## 第2次富山市スポーツプラン(案)のパブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

別紙

No	ご意見	左記ご意見に対する市の考え方
5	<p>P23 若者・中高年のスポーツライフの推進について ・50代へスポーツのススメ 子育てから少し開放され、老後のスタートラインである50代に仲間と集って、スポーツをするチャンスを提供する。50代4人程度で、ウォーキング(市内50コースから選んでなど)。卓球、バドミントン、フレッシュテニスは、20回ラリーをめざす、など。報告するアプリをつくって申請すれば、実施状況に応じてポイントやプレゼントがもらえるサービスを展開してはどうか？仲間を誘い合うのがポイント。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 市では、市民のスポーツに対するニーズや実態把握のためにアンケートを実施しており、その結果から、若者・中高年が仕事や家事、育児等で忙しいなどの理由により、運動・スポーツに対する意識の低下や実施機会の減少が見受けられます。 市としましては、この働く世代、子育て世代から中高年者をターゲットとした取組みに重点をおくことで、スポーツ実施率の向上につなげていきたいと考えております。 その取組み例として、親子で実施できるスポーツ教室の開催、市民や学校の多様なニーズに対応するスポーツ指導者の活用を図っております。また、スマートフォンを持ち歩くと、歩数に応じてポイントが貯まる「とほ活アプリ」の利用を推進しております。ご提案のインセンティブの付与、企業に対する働きかけなども運動・スポーツの実施機会の増加につながる有効な手段の1つであり、今後、こうした世代の運動不足解消やスポーツを習慣化する環境づくりに向け、頂いたご意見を参考に、具体的な施策の検討に向けて、調査研究してまいりたいと考えております。</p>
6	<p>P23 若者・中高年のスポーツライフの推進について ・会社内で、スポーツをする時間を設ける。 家に帰ってからでは、なかなかスポーツに出かけられない人が多いので社内で計画的(年6回など)に、スポーツをする機会を提供する。ノルディックウォーク、会議室卓球、インシアティブゲーム、けん玉体操など1時間ほどで、軽くてできるもの。指導者派遣や指導員研修会などがあるとよい。</p>	
7	<p>P29 スポーツ指導者派遣事業について 子どもたちに運動の機会を多くしたい、指導者を増やしたい。会社内から、平日の午前や夕方、年休を取って、保育園や小・中学校へ指導に行く者を推奨してほしい。各中学校校下、登録者(30)名を目指す。会社内に5%を目標に送り出す応援体制ができるといい。多くの一般人が参画・協力できる制度づくりが必要。</p>	